

12月定例支部長会・議事報告書

東京都板金工業組合

平成25年度12月の支部長会の議事について下記の通りご報告いたします。

記

1. 開催日時 平成25年12月2日(月)午後2時00分開会
2. 開催場所 東京都板橋区小豆沢2-27-9 東板会館 1階
3. 出席者 役員 三浦、森田、照内、畠山、米本、堀田、堀江、
(敬称略) 篠田、小林、木本、國松
支部 手代田、中央、港、文京、台東、品川、大田、目黒、世田谷、
渋谷、新宿、中杉、墨田、江東、葛飾、江戸川、豊島、板橋、
練馬、北、荒川、足立 西東京、八王子、町田、立川、小平
府調泊

事務局 石田・根岸

定刻より石田職員の司会で開会し、開会の挨拶を森田副理事長が述べた後、三浦理事長による代表者挨拶が行われた。続いて石田職員より11月の行事報告と今後の予定が説明された。その後、高部美穂新職員が挨拶を行い11月8日より勤務の報告がされた。三浦理事長の指名により照内副理事長が議長となり議事に入った。

4. 議事

(1) 商品説明

・とうきょう共済 花山氏

花山氏は別紙に基づき各種共済について述べ、自動車保険契約情報提供(現行契約FAX)キャンペーンを9月~10月まで行い、組合員からの情報提供実績数(実績:足立・小平支部)を報告した。新規加入キャンペーンとして傷害総合保障共済と医療総合保障共済に関して述べ、傷害総合保障共済は月額1,000円もしくは2,000円(年齢制限有)の掛け金で、医療総合保障共済は年齢別・選択コース別の掛け金で、共済金(給付金)が支払われる場合と説明し、キャンペーンの特典として5名以上加入から報奨金が支部および本部に支払われる旨を説明した。

(2) 全板千葉大会について

堀田専務理事は別紙に基づき全板千葉大会について述べ、大会の概要を説明し東板としほ参加者数400名を目標にしていることから、各事業所において家族・従業員

を含めて多数の参加者を3月15日（土）に締切りとして募集の要請をした。また組合功労賞受賞者候補を第2・3・4の3ブロックより1月30日（木）までに推薦提出の旨を述べた。

(3) 賀詞交歓会について

堀江総務委員長は賀詞交歓会（平成26年1月28日（火）明治記念館）について、組合員参加・来賓参加・展示会出展など徐々に連絡が入っている状況で、組合員の申込み締切りは12月20日（金）であり、会費納入は1月10日（金）までとし、10日以降のキャンセルは対応できない旨を述べた。また当日の来場に関して、展示会（13時～）からの参加を要請し、会場外（ロビー）での飲食禁止・服装は平服（ノータイ可）とし作業着は禁止・来賓挨拶中の私語のつつしみなど、留意事項について述べた。

(4) 登録基幹技能者新規取得講習について

畠山副理事長は別紙に基づき、板金会館において平成26年3月8・9日（土・日）の日程で、関東ブロック主催のもと講習会が開催されることについて述べ、建築板金工事の施工現場で10年以上の現場施工従事で、うち3年以上の職長経験を有し、「建築板金一級技能士」「アーク溶接作業特別教育修了者」「玉掛け技能講習修了者」「高所作業車運転技能講習終了者」「職長教育」の5つの資格有する者が受講対象者であると述べた。記入例をもとにして書類提出締切りが1月15日（水）とし、受講料振込み期限は1月20日（月）であると説明し、募集の要請をした。

(5) 全板連動向について

三浦理事長は組合員手帳について述べ、250部購入し支部の組合員数で配布した旨を説明した。議員連盟会合での登録基幹技能者の優遇について述べ、今までの国交省への陳情と異なり、今回は国交省役人が同席であり、その旨を直接担当者に告げられたと報告した。他に、施工現場入場の可否について述べ、雇用保険などの加入・未加入で制限される動きがあると説明した。

(6) 平成26年度事業について

三浦理事長は来期事業に関する提案・意見を出していただくと述べた。参考意見として11月22日（金）理事会における役員からの提案事項を事務局に求め、石田職員が報告した。（以下、14項目中、抜粋記載）

- ・組合員減少に伴い、理事・総代定数の見直し。
- ・各種講習会（資格取得の伴う）開催。
- ・若年者就労、人材不足解消対策。
- ・魅力ある板金業について、熟練者による実技講習会。

これに対して、支部長より発案が出された。（以下、提案・意見の列挙）

- ・健康管理を目的に、健康面を含めた内容の専門家による講演。
- ・接客・営業面で役立つマナーに関する講習（生命保険会社）。
- ・産業廃棄物に関して、廃材リサイクルのメーカー対応について。

- ・技能検定の合否に基づき、講習会での指導方法について。

〔これらの提案に対して、担当役員より回答および補足意見が出された。〕
この議事報告では提案事項の記載のみとした。

(7) 部会委員会報告

◎畠田経営対策部会長

賀詞交歓会内容検討について、12月19日（木）部会を開催し協議すると述べた。

「建築板金責任施工士（自主検査員）」更新について述べ、2月20日付で60名が該当し、更新手続きはダイレクトメールでお知らせすると説明した。

シリリングキャンペーンについて述べ、昨年同様の品種（シリコン、变成シリコン）・価格（シリコン@270円、变成シリコン@495円）・日程（12月16日～2月5日）でセメダインと協議し、申込み用紙等の資料を本日配布したと説明した。

◎小林技能検定委員長

技能検定建築板金内外装作業の合格発表について述べ、1級が13名受検し合格4名・2級が6名受検し6名合格したと報告し、12月11日（水）伝達式を東板会館で開催する旨を述べた。

◎木本会計委員長

組合会計について、12月見通しが100万円黒字傾向であると述べ、大まかな内容として講習会収益の増加、斡旋販売の減少など報告した。12月17日（火）に委員会を開催し決算見通しおよび予算案協議の旨を述べた。

◎堀江総務委員長

第49回通常総代会（平成26年3月24日（月）建設プラザ）に関して述べ、本来は本部役員任期に合わせて頂きたいが、事情により評議員および支部長交代のある支部は、2月中旬までに事務局に連絡するように要請した。

◎國松青年部会長

別紙に基づき青年部活動の報告・今後の予定を述べた。

10月27日（日）：全国技能競技大会第1回予備講習会

11月3・4日（日・月）：第26回関東ブロック青年部研修会 in 埼玉

11月6日（水）：第11回青年部幹事会

11月23・24日（土・日）：全国技能競技大会第2回予備講習会

12月10日（火）：第12回青年部幹事会

1月12日（日）：全国技能競技大会第3回予備講習会

◎米本副理事長

訓練校生徒作品展'14が1月15・16日（水・木）新宿西口イベントコーナーにおいて開催予定で出展する旨を述べた。

訓練校生徒募集について、26年度入校生募集を要請した。

◎堀田専務理事

寺子屋教室が 11 月 9 日(土)「クリスマス・干支」を課題にして開催し、生徒作品を東板ショウウインドウに展示中と報告した。ものづくりマイスターの認定講習会が 11 月 26 日(火)にあり、その後認定書が各申請者に送付された旨を述べた。

◎照内副理事長

「東板成人病健診」について、11 月 2 日(土)KKC ウェルネス東京診療所にて行われ、また部会研修会が 11 月 15 日(金) ホテルベルクラシックで開催したと報告した。部会役員会が 12 月 13 日(金)に開催予定である旨を述べた。

(6) その他

・三浦理事長

別紙の職業能力開発協会機関紙における掲載記事について、畠山副理事長の役員紹介および東京都建築板金技能士会の紹介について説明した。

・石田職員

別紙の平成 26 年度スケジュールについて説明をした。

以上で議事を終了し米本副理事長より閉会の挨拶があり、午後 4 時 5 分閉会した。

この議事録は、議長の承認を受けたものです。